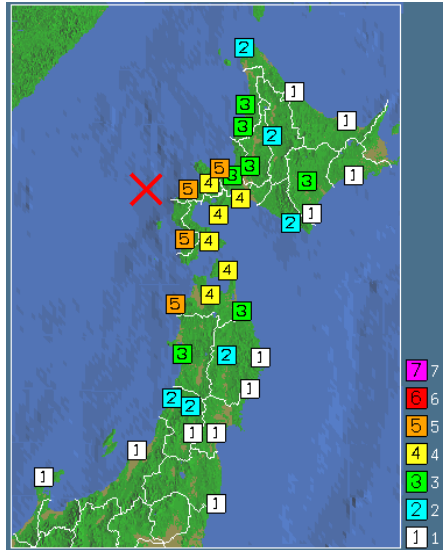
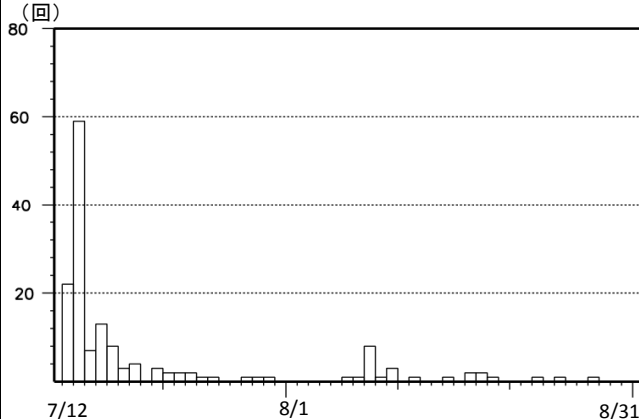


「平成5年(1993年)北海道南西沖地震」による災害

発生日時	1993年(平成5年)7月12日 22時17分	資料
震央地名 地域(名称)	北海道南西沖 (北緯42° 46.9'、東経139° 10.8')	
震源の深さ	35km	
地震の規模 (マグニチュード:M)	7.8	
県内の震度	震度3:秋田市	
災害発生市町村	能代市、八峰町、三種町、男鹿市	 震度分布図 × :震源
地震概要	7月12日22時17分、北海道南西沖の深さ35kmでM7.8の地震が発生し、北海道小樽市、青森県深浦町などで震度5を観測するなど北海道から北陸地方にかけて震度5～1を観測した。秋田県では、秋田市で震度3を観測した。 震源に近い奥尻島では、地震発生後まもなく津波が襲来し、その後大規模な火災が発生したため、特に青苗地区では津波による被害とともに壊滅状態になった。 最大余震は、8月8日に発生したM6.3の地震で、秋田県内では、秋田市で震度2を観測した。	
被害概要		
この地震により、能代市で水道施設1箇所、三種町で溜め池1箇所、八峰町で農業用送水管1箇所、男鹿市で漁船2隻が沈没するなど、合せて614万7千円の被害が発生した。 (秋田県消防防災年報 による)		
 震度1以上を観測した地震の日別回数グラフ (本震を含む、1993年7月12日～8月31日)		